

平信賢師 顕彰 ウィーク

- 15日 奉納演武会
- 17日 琉球古武術・空手術演武大会
- 18-20日 国際セミナー



奉納演武会 平信賢師の功績を町民へ広く紹介する事を目的に登武那覇公園近く、平信賢師墓前にて奉納演武会を行いました。奉納演武では、吉本道場の吉本さん、仲松さん、平良空手道場の平良さん、松本さん、譜久里さん、沖縄剛柔流空手道協会の嘉手苺さんが琉球古武術・空手術を披露しました。大田町長は平先生の功績を今後も後世に引き継ぐべきだと述べました。



年	経歴
1970	那覇市の自宅にて亡くなられる
1964	全日本古武道連盟総裁賀陽恒憲(宮殿)より範士の称号を授けられる
1940	那覇市に古武道道場を開き、琉球古武道の指導にあたる
1933	琉球古武道保存振興会を設立する
1932	群馬県に船越先生の支部道場を開く
1929	屋比久孟伝先生より琉球古武道の指導を受ける
1922	東京の明正塾、富名越義珍先生入門
1897	誕生(字真謝) 母方の養子となり戸籍上上前里姓だが親しみのある平を名乗る



琉球古武術中興の祖 平信賢先生 顕彰 第6回 琉球古武術・空手術演武大会
琉球古武術保存振興会主催の日本支部・海外支部合同の演武大会ならびに国際セミナーが開催されました。井上貴勝会長からは平信賢先生、井上元勝先生の功績に会員代表して感謝を述べておりました。

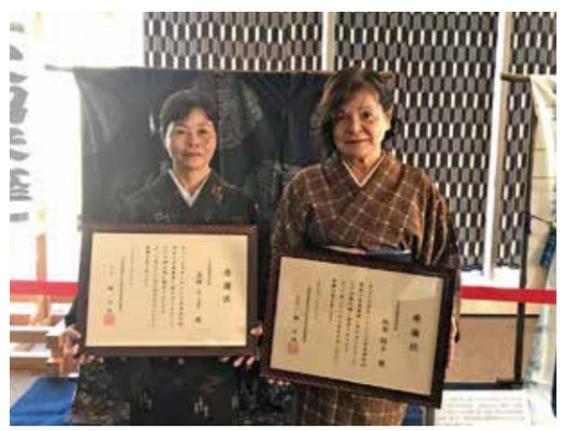
海洋生体・サンゴ保全を学びます！ JICA沖縄研修生訪問

12月2日、国際協力機構沖縄センター（JICA沖縄）で学んでいるアルバニア、フィジー、ミクロネシア、パラオ、フィリピンから参加の研修生6名が、大田町長を表敬しました。JICA沖縄の海洋生体系保全プログラムは今年で4年目をむかえ、久米島にはサンゴ増殖研究所（海洋深層水研究所内）でサンゴの種苗生産技術を学び、ハテの浜近くでグラスボートに乗り、サンゴ礁の観察に行いに訪れました。大田町長は温度差発電による自然エネルギーで副産物の出ないサンゴにやさしい島にしたいと研修生へ語り、研修生も久米島の自然に興味を示し、サンゴ礁や海の中の生き物に会いに行く意欲を見せていました。



久米島紬の手わざを後世に伝える！ 全国重要無形文化財保持団体協議会功労者表彰

全国重要無形文化財保持団体協議会（会長・梶文秋輪島市長）の第28回大会が11月21日、福岡県久留米市で開かれました。久米島紬保持団体をはじめとする協議会加盟の16団体が参加し、久米島紬保持団体代表の桃原積子さん、高坂エミ子さんが功労者表彰を受けました。桃原さん、高坂さんは長きにわたり久米島紬製作に携わり、日々研鑽に励みつつ、後継者の育成及び技術の保存・伝承に努め尽力してきたことなどが評価され、今回の表彰となり感謝状が贈られました。2月は久米島紬関連イベントが久米島博物館、ユイマール館で開催されます。詳細は2月号掲載予定です。



久米島町自慢の特産品を本島にお届け！ 久米島町 観光・物産と芸能フェア

12月6日～8日の3日間、那覇市久茂地タイムスビルで「第7回久米島町観光・物産と芸能フェア」が開催されました。車エビや泡盛、味噌や菓子類といった島の特産品を買い求めて約6,800人が来場、フェアを楽しんでいた皆さま。子どもたちに大人気の手つみ取りや久米島紬の着付け体験など豊富な内容で会場は賑わいを見せました。また、土曜日曜の2日間は人間国宝に認定された中村一雄さんの琉球古典音楽や久米島関係者による民俗芸能などが披露され、3日間にわたるフェアは大盛況に終わりました。

